

ドラッグ&アディクシ

2018年7月30日(月)
Vol.1, No.1 (通巻1号)

菊池アディクション治療プログラム

- 1 アディクションとは
- 2 菊池の治療の特徴
- 3 受診するには
- 4 薬物嗜癖自己テスト

アディクションについて

薬物嗜癖は慢性に経過し再発を繰り返す習慣であり、コントロールをする部分が機能を失う脳の病気です。

根本的な治療はありません。数年間の精神科入院や刑務所生活でも治療にはならないことが分かっています。しかし、問題を軽くし、普通の生活が送れるようにすることはできます。

菊池の治療の特徴

菊池での治療の目標はアナログ的なものです。つまり、薬物再使用と再使用の間の期間をできるだけ長くすること、再使用した場合の生活の困難の程度を軽くし、生活が困難である期間を短くすることです。

次のようなことを治療の目標にします。

1. 使用を減らす
2. 使用に伴う害や障害を減らす
3. 使用に伴う公衆衛生上の問題(感染症など)や犯罪を減らす
4. 使用を減らす方法として刑務所や入院よりも安い方法を提供する

この治療プログラムは「底着き」体験を強調しません。それは、患者個人が回復した後に自分の体験を振り返って考えることです。回復の入り口にある人に、底着き体験を求めることは、良くないことだと考えます。

治療の方法

カウンセリングを行います。

効果を実証されている次のような治療を行います。

1. 心理教育
2. 認知行動療法
3. 動機付け面接
4. 再発予防訓練
5. 日常生活での再発のきっかけに対する対処訓練
6. 家族療法

治療は、楽しい、明るい雰囲気で行います。外来治療プログラムにきちんと通院をした場合に記念品を渡すなどのほめる方法を用います。これは、今まで薬物使用のために罰を受けてきた人には特に有効だと考えます。

NAミーティングなどの12ステップや治療共同体も取り入れます。

薬物嗜癖は他のさまざまな精神障害を伴います。うつ病や精神分裂病に対して適切な薬物療法、心理療法を行います。

治療の研究

嗜癖の治療は確立したものとはいえません。さまざまな試みを行い、その効果を科学的に調べる必要があります。無作為割付臨床試験などの近代的な方法と研究の倫理にしたがって治療法の研究開発を行います。

受診の仕方

電話相談

まずお電話をください。電話相談にて外来受診(インテーク面接)予約をいたします。

電話番号 096-248-2111 FAX 096-248-4559

e-mail hharai@kikuti.hosp.go.jp

電話受付時間:平日午前9時～午後5時まで

相談担当者:原井, 下原, 丸尾, 田中, 高木

外来受診

外来受診日:毎週火曜日(第1,3火曜日は午前中のみ, その他は午前と午後)

外来での内容:1時間半かけて, インテーク, アセスメント, 治療の説明を行います。

治療に関する大事な事柄

患者様の承諾がない限り, 受診時に患者様から知りえた情報はどのような内容であっても警察を含め外には漏らしません。ただし, 救急などの命にかかわるような場合は, 患者様の事前の承諾なしに他の医療機関に情報を提供する場合があります。

病院敷地内で行われる違法行為については警察に通報いたします。

研究・転帰調査

当院における治療終了後5年間の間, 生活調査に応じていただくようお願いいたします。

外来プログラム

毎週 月曜日, 木曜日 夕方6時～7時半

毎月第2木曜日はDARCメッセージを7時から8時半に行います。

最初の1ヶ月は, 初期の回復スキル, 再発予防

2ヶ月目は, 再発予防グループ

3ヶ月目からは社会サポート

入院

依存だけの場合は, 外来治療を行い, 入院は原則として行いません。

次の場合には入院治療を行います。

- 外来治療を1ヶ月試みましたが, うまく行かない。生活環境を変える必要がある。
- うつ病や精神分裂病などの合併精神障害の治療のために入院が必要である。

いずれの場合も外来で行うプログラムに参加していただきます。

また入院治療は, 任意入院であり, 退院は患者様本人の意思により可能です。外出や外泊は原則として制限しません。

薬物使用自己テスト

過去12ヶ月の間にあなたが使用した薬物についてお聞きします。当てはまる番号に○をしてください。薬物乱用とは医師が処方した薬または一般の薬局で買える薬を指示された以上の量を使ったり, 病気の治療以外の目的で使うことを言います。薬物とは, マリファナやグラス, シンナー, トルエン, ライターガス, 精神安定剤, 睡眠薬, 咳止め(ブロン), コカイン, 覚醒剤, 幻覚剤(LSD), 麻薬(ヘロイン)などです。アルコールは含みません。

1. 病気の治療以外の目的で薬物を使うことがありましたか
2. 医師が処方した薬を乱用することがありましたか
3. 一時に2種類以上の薬を乱用することがありましたか
4. 薬を全く使用しない日が1週間以上続くことはありませんか

5. 使いたくないときはいつでも薬物使用をやめられますか
6. 薬物を使用した結果, その日のことが記憶になかったり, 昔の症状が出てきて不快になる(フラッシュバック)を経験したことがありますか
7. 薬物使用についていけないことをしていると感じたり, 罪の意識を持ったりしたことがありますか
8. あなたの配偶者または両親があなたの薬物使用について怒ったり, 苦情を言ったりしたことがありますか
9. 薬物使用があなたの配偶者または両親との間に問題を起こしたことがありますか
10. 薬物使用の結果友人を失ったことがありますか
11. 薬物使用のために家族や子供を放置したり, ないがしろにしたことがありますか
12. 薬物乱用のために仕事や学業に影響が出たことがありますか
13. 薬物乱用のために仕事を失ったり, 退学したりしたことがありますか
14. 薬物を使用中に喧嘩をしたことがありますか
15. 薬物を得るために不法行為に関係したことはありませんか
16. 不法に薬物を使用または所持していたことで警察に捕まったことはありませんか
17. 薬物使用を止めたとき, つらくなったこと(離脱・禁断症状)がありますか
18. 薬物使用のために病気になったことはありませんか(記憶力が落ちる, 肝炎, けいれん発作, 出血など)
19. 薬物の問題のために誰かに助けを求めたことはありませんか
20. 薬物使用に関連した治療を受けたことがありますか